

平成 28 年 9 月 5 日

<速報版>

### 第6回マザーレイクフォーラムびわコミ会議の結果概要について

#### ◇開催概要

日 時： 平成 28 年（2016 年）8 月 20 日（土）  
＜第 1 部＞10:00～12:00 ＜第 2 部＞13:15～16:30  
場 所： コラボしが 21（滋賀県大津市打出浜 2-1）  
主 催： マザーレイクフォーラム運営委員会・滋賀県  
参加者： 212 名  
参加団体： 76 団体  
ブース出展団体数： 25 団体  
テーマ： 『恵み 味わい 暮らし つなぐ』

内 容：

#### 【第一部】みんなつながる報告会 10:00～12:00

ナビゲータ・川本勇（ユーストン）と佐藤祐一（琵琶湖環境科学センター）による進行のもと、「びわコミ会議」が開幕した。



#### 1 開会挨拶

##### ○松沢松治（マザーレイクフォーラム運営委員会委員長）

…何十年も漁師をしているが、今年は春先から魚が浅瀬に寄って来ないことがある。これは今までにない現象。今日は、多くの参加者の話がつながり、これからのがわ湖を考える日にしてもらいたい。

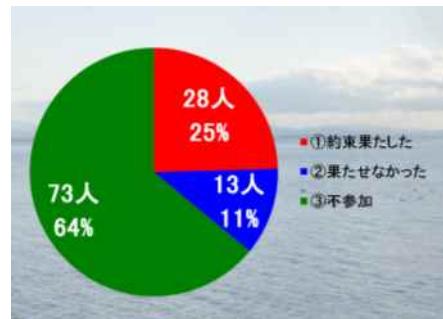
##### ○西嶋栄治（滋賀県副知事）

…昨年 9 月に琵琶湖保全再生法が全会一致で制定され、琵琶湖が国民的資産となった。琵琶湖の保全再生は行政だけでできることではなく、NPO や企業など皆さんの声を受け止め、他の湖沼に先駆けたフロントランナーとしての役割を果たしていきたい。



## 2 昨年度のコミットメント

昨年度のびわコミ会議で各自が書いたコミットメント(約束)を、この1年間で果たすことができたかどうか会場アンケートを行ったところ、昨年度の参加者の約7割が「約束を果たした」と回答。個別インタビューからも、熱心に活動に取り組んで来られた様子が伝わってきた。また、今年初めて参加した人が例年以上に多かった。



## 3 「みんなつながる報告会」～活動団体5団体からの報告

次に、以下の5つの団体からの活動報告を行った。

- ① 「米原市ビワマス俱楽部」（中村幸雄・青木吉史）  
“「天野川カムバックビワサーモン」を合言葉にした取組”
- ② 「須原魚のゆりかご水田協議会」（堀 彰男）  
“生きものと人が共存できる農業を目指して”
- ③ 「有限会社池田牧場」（池田喜久子）  
“中山間地域で生き抜く！”
- ④ 「琵琶湖環境科学研究センター」（水野敏明）  
“アユにとって大切な森-川-湖のつながり”
- ⑤ 「TANAKAMI こども環境クラブ」（小杉優奈・平田侑莉奈ほか）  
“田上のいいところ～遊びから学んだこと～”



各団体からの報告の後、それぞれの報告内容に関連するデータを提示し、3人のコメントーターが、県や学術フォーラム等の立場からコメントを行うとともに、会場も交えた質疑応答を行った。

### コメントーター

- ・西嶋栄治（滋賀県副知事）
- ・井手慎司（マザーレイク21計画学術フォーラム委員）
- ・三和伸彦（滋賀県化学・環境行政職員同友会）



#### 4 「びわ湖なう」

「びわ湖なう」と題して、参加者に配布された「びわ湖と暮らし 2016」をもとに、びわ湖の現在の状態について、特にこの1年間に特徴的なトピックについて、岡田英基（滋賀県琵琶湖保全再生課長）より報告した。



#### 5 「寄付金受領式」

午前中の最後は、今年3月にマザーレイクフオーラム運営委員会へご寄付をいただいた「びわ湖チャリティー100km歩行大会実行委員会」「びわカンゴルフコンペ」「Flower Produce ichica」の3団体の代表者をお招きして、マザーレイクフオーラム運営委員会委員長の松沢松治に対し目録を贈呈いただく寄付金受領式を行った。各寄付団体より、それぞれの取組もご紹介いただいた。



#### 【昼休み（ブース展示）】 12:00～13:15

25団体からブース出展があり、参加者は昼休みの時間を利用して各ブースを見て回りながら、思い思いに出展者との交流を深めたり、情報交換を行った。



#### 【第二部】びわ湖のこれから話さへん？ 13:15～16:30

##### 1 知事挨拶

○三日月大造（滋賀県知事）

…去年のびわコミ会議では「365日びわ湖」というコメントメントを掲げ、毎日琵琶湖岸を散歩し、ビワイチも達成した。この一年、琵琶湖再生法が制定され、日本遺産の二次認定もいただき、世界農業遺産の認定に向けた取組もスタートさせた。映画「マザーレイク」



でも、びわ湖の良さを広げていただいた。

今年は「いつも みんなと びわ湖」というコミットメントで、皆さんと一緒に一年間がんばっていきたい。

## 2 グループ討論

テーマ別にグループに分かれて、話し合いを行った。まず、話し合いの進め方や留意点等について、司会より説明を行った。続いて、各グループの担当者が紹介され、各担当者が簡潔に各グループのテーマのポイント等を説明した。



- [1] 中村幸雄・青木吉史（米原市ビワマス倶楽部）  
「びわ湖とビワマスのふるさと天野川」…天野川ビワマス遡上プロジェクトでつながる
- [2] 堀彰男（須原魚のゆりかご水田）・青田朋恵（滋賀県農政課）  
「びわ湖と魚のゆりかご水田」…持続可能な取り組みにするには？
- [3] 西村俊昭（株式会社農楽）  
「びわ湖と中山間地」…森と遊び、未来を拓く
- [4] 藤田始史・野田晃弘（琵琶湖・淀川流域圏連携交流会）  
「びわ湖をめぐる地域での連携」…団体・企業・行政でつながりあって、それぞれの課題をプラスに転換！
- [5] 安部尚子（引率）・子どもたち（TANAKAMI こども環境クラブ）  
「みんなのびわ湖」…未来に向けてびわ湖への思い
- [6] 嘉田由紀子（びわこ成蹊スポーツ大学）  
「びわ湖とスポーツ」…『琵琶湖周航の歌』100周年とこれからの琵琶湖水上スポーツの可能性について
- [7] 平山奈央子（滋賀県立大学環境科学部）  
「びわ湖と活動連携」…新たな連携の糸口を探す
- [8] 中井克樹（滋賀県自然環境保全課）・岡本佳奈（IVUSA）・日下部純子（びわこ豊穣の郷）  
「びわ湖と外来種」
- [9] 脇田健一（龍谷大学）・奥田 昇（総合地球環境学研究所）  
「びわ湖の恵みと人のつながり」…つなげよう！森・里・湖の恵みを次世代に
- [10] 山田千尋（滋賀県流域治水政策室）  
「びわ湖流域と水害」…どうやって水害から命や財産を守る？
- [11] 大菅博樹（滋賀県琵琶湖保全再生課）  
「びわ湖の保全再生」…琵琶湖保全再生法成立～国民的資産「びわ湖」を未来に・私たちができること～
- [12] 佐藤祐一（琵琶湖環境科学研究センター）  
「びわ湖とものさし」…琵琶湖の「いいね！」を何で測るか？～『びわ湖と暮らし2016』をもとに～
- [13] 佐々木和之（輪の国びわ湖推進協議会）  
「びわ湖とサイクリング」…サイクリングを通じて親しむびわ湖
- [14] 小川ゆかり（沖島町離島振興推進協議会）  
「びわ湖と漁師」…びわ湖の守り人
- [15] 瀬木直貴（映画監督）  
「びわ湖と映画」…映画「マザーレイク」が滋賀県・びわ湖にもたらすもの

各グループの参加希望人数を事前に把握するため、旗挙げによるグループ分けを行った。サブ会場も含め、1 グループあたり 6 人～15 人の合計 15 グループに別れて、それぞれ 80 分にわたり話し合いを行った。各グループ内のファシリテーターの進行により、参加者同士がそれぞれのテーマについて活発に議論を深めた後、最後に「キーセンテンス」をとりまとめた。



### 3 私のコミットメント

グループでの話し合いを終え、メイン会場に戻ってきたところで、これから 1 年間、自分がびわ湖のために何をするかを宣言する「私のコミットメント（＝約束）」を参加者全員にフリップに記載してもらい、一斉に掲揚した。



### 4 第二部まとめ

15 グループの代表者が登壇し、グループ内での話し合いの様子と、各グループでとりまとめた「キーセンテンス」を発表した。司会者がフロアからも追加の意見を聞き出し、それぞれのテーブルで話し合われた内容を参加者全員で共有した。



○「びわ湖との約束 キーセンテンス 2016」

- [1] 「びわ湖とビワマスのふるさと天野川」  
… ビワマスを通して向こう側にある暮らし、環境に思いをはせよう！
- [2] 「びわ湖と魚のゆりかご水田」  
… 琵琶湖での奇跡を如何にしてPRするか…～ブランド化と人のつながり～
- [3] 「びわ湖と中山間地」  
… ファザーフォレストを守り活かす滋賀ライフスタイルの発信!!
- [4] 「びわ湖淀川流域と市民のつながり」 … 琵琶湖の役割を伝える
- [5] 「みんなのびわ湖」 … 生き物がすみやすく人と魚が共存できる琵琶湖！
- [6] 「びわ湖とスポーツ」 … ○水上ビワイチで周航を！ ○拠点をつないで周航を！  
○世界に拡げよう琵琶湖周航の歌 ○次世代につなぐ周航の歌
- [7] 「びわ湖と活動連携」 … 連携は共通の方向感  
○目の前の課題 ○もったいない ○その人の言葉で話す
- [8] 「びわ湖と外来種」 … 「よそ者だから悪い」わけではない／  
「きらわれものグルメ」の復活を！ ／ 自然のバランスを取り戻したい
- [9] 「びわ湖の恵みと人のつながり」  
… 体験が自然の価値を引き出す ／ 体験することが恵みを伝える
- [10] 「びわ湖流域と水害」  
… 地域の人と一緒に身近な川のことを知る。そして自分の命は自分で守る。
- [11] 「びわ湖の保全再生」 … ~遊んで学んで食べてもうけて～  
琵琶湖をもっと好きになって保全を進めよう！
- [12] 「びわ湖とものさし」 … 人間の五感の数値化に挑戦！
- [13] 「びわ湖とサイクリング」 … 自分に合ったいい自転車で びわ湖のめぐみに  
触れながら 一人一人に合った楽しみ方で 走れるようにしよう
- [14] 「びわ湖と漁師」 … 漁師さんの声を！
- [15] 「びわ湖と映画」 … ○平和と水はタダじゃない  
○世界と、世界の湖と、つながる ○フックの効いたブランディング

全員ですべてのキーセンテンスを復唱し、最後に司会者より閉会が告げられて、第6回びわコミ会議が終了した。（16:30）